

第3・4学年国語科学習指導案

日 時 平成30年9月21日(金) 5校時
児 童 3年生 男6名 女5名 計11名
4年生 女3名 計 3名
授業者 新 沼 弘 士 (T1)
関 口 寛 子 (T2)

- 1 単元名 書き手の工夫を考えよう
教材名 「ほけんだよりを」読みくらべよう
(東京書籍 3年上)

- 1 単元名 身の回りの文章を読みくらべよう
教材名 広告と説明書を読みくらべよう
(東京書籍 4年上)

2 単元について

(1) 教材について

この教材の重点指導事項は、学習指導要領におけるC読む(1)イ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて、段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」である。

本教材は、「ほけんだより」という、学校生活における配布物を題材に取り上げており、実生活での活用につなげやすい教材である。筆者の意図によって事柄の取り上げ方や、説明の仕方が異なることを理解してその違いを読み取ることにより、筆者の意図に応じた表現の工夫を読み取る力を身に付けることができる教材といえる。また、筆者の表現の工夫の良さを「はがき新聞」にまとめて、交流する活動を取り上げ、一人一人の感じ方に違いがあることに気づかせるのにも適した教材である。

(2) 児童の実態について

3年生の児童はこれまで、中心文や重要語句を手がかりに、段落の内容をとらえることを学習してきたが、読み取る力は、不十分である。

新聞の活用は、「国語じてんのつかい方を知ろう」の学習で、子ども新聞から好きな記事を選び、わからない言葉を調べる学習を行った。そして、調べた言葉「意味」「文例」をはがき新聞にまとめた。また、総合的な学習の時間でも個人新聞に取り組み発信することに意欲を示してきている。学校生活の中では、普段から読書に親しみ、学校で発行している「学校だより」や「ほけんだより」なども興味を持って読んでいます。この活動意欲を活かしながら、書き手の意図によってそれぞれ違う表現の工夫をしている文章を読み比べさせていきたい。

2 単元について

(1) 教材について

この教材の重点指導事項は、学習指導要領におけるC読む(1)イ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」である

本教材は、始めに目的による表現の違いについて述べられており、読み比べるうえでの観点を持つことができる。さらに、同じ商品について説明した「広告」と「取扱説明書」という画像や図表を含む身近なテキストが取り上げられており、表現の違いとその効果を考える活動や自分の「はがき新聞」にまとめる活動を通して、目的に合わせた表現の違いを読み取る力を身に付けるのに適した教材である。

(2) 児童の実態について

4年生の児童はこれまで、二つの文章を読み比べ、それぞれの説明の仕方の違いや工夫を読み取ることを学習している。意欲的に学習に取り組み、進んで読書をしている場面も多くみられる。また、説明文の教材も興味を持って学習に取り組んだ。しかし、筆者の意図をとらえる力が十分とは言えない。

新聞の活用は、「ことわざブックを作ろう」で、カードの代わりにはがき新聞にまとめる活動を行った。また、総合的な学習の時間でも個人新聞に取り組んでいる。自分の考えや調べたことを発信することに意欲的に取り組んでいる。

本教材で取り上げられる「広告」や「説明書」は実生活の中で目に触れている。この経験と新聞の発信の経験を活かしながら、目的に合わせた表現の違いを読み取らせていきたい。

(3) 本単元における新聞活用（言語活動）

言語活動として、二つの「ほけんだより」を読み比べて、自分の考えを書く活動を設定した。それぞれの事柄の取り上げ方や説明の仕方を読み取り、どちらの文章がよいと思うかを、理由を明確にして書くことで、書き手の工夫の効果を読み取る力をつけていきたい。その際に、はがき新聞を活用していく。最初に自分の考えをワークシートに書き込み、グループの話し合いを持つ。交流した内容を受けて、自分の考えを見直し、これをはがき新聞に書き学級のなかまに発信していく。相手や目的を明確にし、まことができると考える。

3 単元の目標

二つの「ほけんだより」を読み比べ、それぞれの事柄の取り上げ方や、説明の仕方の工夫を読み取ることができる。

4 単元の評価規準

・二つの文章を読み比べて、事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を見つけようとしている。	関 心 意 欲 態 度
・文章を読み比べて、図表と文章の関係を考えながら、書き手の工夫に着目して読んでいる。 C(1)イ ・二つの文章を読み比べて考えたことを発表し合い、一人一人の着眼点や感じ方について違いのあることに気づいている。 C(1)オ	読 む
・それぞれの文章のどちらがよいと思うか、理由を明確にして書いている。 B(1)ウ	書 く
・語句の役割や語句相互の関係に注意し、文の構成について理解している。 伝国(1)イ(キ)	言 語

5 単元の指導計画(8時間)

	主な学習活動	評価規準	過程
つ か む	○二つの文章を読み比べて、どちらを「ほけんだより」に選ぶかを考えると	【関】二つの文章を読み比べて、事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を見つけようとして	第 1 時

とめ方を工夫することで表現力を身に付けること

(3) 本単元における新聞活用（言語活動）

言語活動として、身の回りにある実用的な文章から、目的に合わせた表現の工夫を調べ、考えをまとめる活動を設定した。この中で、文章から必要な情報を取り出し、目的と表現の関係を考える力をつけていきたい。また、調べたことをまとめる段階で、はがき新聞を活用し、互いに読み合い感想を伝え合うことで、児童に目的に合わせた表現の違いを実感させ、実生活や今後の学習に生かしていきたい。

3 単元の目標

広告と説明書の文章を読み比べ、それぞれの目的に合わせた表現の違いを読み取ることができる。

4 単元の評価規準

・目的に合わせた表し方の違いに興味を持ち、文章を読み比べようとしている。	
・表現の仕方や工夫を比較しながら読み、広告と説明書の違いについて読み取っている。 C(1)イ ・調べて考えたことを互いに読み合い、一人一人の感じ方の違いに気づいている。 C(1)オ	
○身の回りの文章について目的と表し方の結びつきを明確にして書いている。 B(1)ウ	
・広告と説明書のそれぞれの文章において、語句の役割や文の組み立てについて理解している。 伝国(1)イ(キ)	

5 単元の指導計画(8時間)

	主な学習活動	評価規準	
つ か む	○身の回りにある実用的な文章を提示し目的に合わせた表し方の違いを讀	【関】身の回りの文章に関心を持ち、表し方の工夫を見つけるために文章を読み比	つ か む

	いう学習課題であることを確かめる。	いる。		み取る学習課題であることを確かめる。	べようとしている。	
深める	○二つの「ほけんだより」を読み比べるときに気を付けることを確かめる。	【読】教科書を読み、二つの「ほけんだより」を読み比べる際の観点を理解している。 C(1)イ	第2時	○広告と説明書が、それぞれどのようなものかを確かめる。	【読】広告と説明書の役割などを確かめ、表し方の違いがあることを読み取っている。 C(1)イ	深める
	○二つの文章の同じところと違うところを確かめる。 ○確認したことと書き手が伝えたいこととの関係を考えまとめる。	【読】二つの文章の共通しているところや違うところを手掛かりにし書き手の伝えたいこととねらいを理解している。 C(1)イ 【言】語句の役割や語句相互の関係に注意して、文の構成について理解している。 伝国(1)イ(キ)	第3時	○広告と説明書を読み、それぞれの事柄の取り上げ方の違いを読み取る。	【読】二つの文章に書かれている事柄を読み取り、それぞれを比較して、その違いを理解している。 C(1)イ 【言】広告と説明書のそれぞれの文章において、語句の役割や文の組み立てについて理解している。 伝国(1)イ(キ)	
深める	○図表と文章を関連付けて読み、図表にどんな効果があるかを考える。	【読】図表と文章のとの関係に着目し、図表の効果を考え、文章に書かれている事柄を理解している。 C(1)イ	第4時	○広告と説明書の文章を読み、目的による表し方の工夫を読み取る。	【読】広告と説明書を読み比べ、その表し方の違いを文章の目的と関連付けて理解している。 C(1)イ	深める
	○二つの文章の、それぞれの書き手の工夫を整理する。	【読】書かれている事柄や説明の仕方の違いから、書き手の表現の意図を考えている。 C(1)イ	第5時	○広告と説明書の違いを考えて、文章にまとめる。	【読】広告と説明書の違いについて、それぞれの観点に沿って表現の工夫を考えながら読んでいる。 C(1)イ	
広げる	○自分なら二つの文章のどちらを「ほけんだより」したいか選択し、その理由を考える。 ＜本時＞	【読】自分なら二つの文章のどちらを「ほけんだより」したいか選択し、その理由を考えている。 C(1)イ	第6時	○身の回りにある実用的な文章から、目的合わせた表し方の違いや工夫を読み取る。 ＜本時＞	【読】目的合わせた表し方の違いや工夫を読み取っている。 C(1)イ	広げる
	○交流した内容を受けて、再度自分の書いたものを見直し、はがき新聞に書く。	【書】二つの文章のうち、効果があると思う方を選び、書かれている事柄や説明の仕方に関連付けて、その理由を明	第7時	○身の回りにある実用的な文章から、目的合わせた表し方の違いや工夫をはがき新聞形式で	【書】身の回りにある実用的な文章から、目的合わせた表し方の違いや工夫を明確に書いている。	

		確にして書いている。 B(1)ウ		まとめる。	B(1)ウ
	○書いた内容を学級全体で交流し合う。	【読】二つの文章を読み比べて考えたことを発表し合い、一人一人の着眼点や感じ方に違いがあることに気づいている。 C(1)オ	第8時	○調べまとめたものを読み合い感想を交流する。	【読】それぞれが調べて考えたことの発表を聞き、一人一人の感じ方の違いに気づいている。 C(1)オ

6 本時の指導 (6/8)

(1) 目標

どちらの文章を「ほけんだより」に選ぶかを決め、その理由とともに書くことができる。

(2) 展開

6 本時の指導 (6/8)

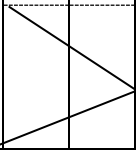
(1) 目標

身の回りにある実用的な文章から、目的に合わせた表し方の工夫を読み取ることができる。

(2) 展開

	学習活動	指導上の留意点 ◇評価	渡り	学習活動	指導上の留意点◇評価	
つかむ (3分)	1 前時までの学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 どちらの「ほけんだより」にするかを決め、その理由をまとめよう。	・学習計画をもとに前時までの学習の流れを確認する。		1 前時までの学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する 身の回りの文章を選び、表し方の工夫を読み取ろう。	(国語リーダーが進める) ・学習計画をもとに前時までの学習の流れを確認する。	つかむ (3分)
見通す (5分)	3 課題解決の見通しを持つ。 ○どちらの「ほけんだより」にするか決め、その理由をまとめることを確認する。	☆理由を伝える書き方を確認する。 ①初めにどれを選んだか書く ②理由を順序立てて書く ・～は○つあります。 ・一つ目は～ ・二つ目は～		3 課題解決の見通しを持つ。 ○自分の選んだ文書を音読する。	・あらかじめ数種類の中から選ばせておく。	見通す (10分)

深める (32分)	<p>4 課題を解決する。</p> <p>○自分の選んだ「ほけんだより」を音読する。</p> <p>○課題解決に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一回音読し、課題に取り組む。 ・二つの相違点に振り返りながら考える。 ・理由を箇条書きしてから文章にまとめていく。 		<p>○「表し方の工夫」とはどんなことを確認する。</p>	<p>「表し方の工夫」</p> <p>①書かれてあることがら</p> <p>②言葉の使い方や説明の仕方</p> <p>③写真や絵の使い方</p> <p>④色の使い方</p> <p>⑤順序やレイアウトを確認する。</p>	
				<p>4 課題を解決する。</p> <p>○自分の選んだ文章について表し方の工夫を読み取る。</p>	<p>☆書く順序</p> <p>①選んだものの名前</p> <p>②相手</p> <p>③表し方の工夫(観点を記入)</p> <p>④目的</p>	深める (27分)
	<p>○グループ内で交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだ理由が相手に伝わるか確認する。 		<p>【評価規準】</p> <p>◇身の回りの文章には目的に応じた表現の工夫があるということを理解している。</p> <p>支援を要する児童の手立て</p> <p>表現の仕方や工夫を示し見つけたものから書かせる。</p>		
	<p>5 学習のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がどちらの「ほけんだより」を選んだか、簡単に理由を発表する。 		<p>○読み取ったことを発表し、意見を交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表し方の工夫が読み取れているか意見交換をする。 	
まとめ	<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <p>○今日の授業の感想を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習で分かったことや、友達との 		<p>5 学習のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだ文章の表現の工夫を読み取ることができたか発表する。 	

	<p>○次時の学習を確認する。</p>	<p>話し合いで役立ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表した内容は授業終了後に書く。 ・自分の理由をはがき新聞にまとめていくことを確認する。 		<p>6 本時の学習を振り返る。 ○今日の授業の感想を発表する。</p> <p>○次時の学習を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習で分かったことや、友達との話し合いで役立ったことを発表する。 ・発表した内容は授業終了後に書く。 ・自分の選んだ文章の表現の工夫をはがき新聞にまとめていくことを確認する。 	<p>まとめる (5分)</p>
--	---------------------	---	---	--	---	------------------

「ほけんだより」を読みくらべよう

課題 どちらの「ほけんだより」にするか決め、その理由をまとめよう。

理由を伝える書き方

- ① どれを選んだか書く
- ② 理由を順序立てて書く
- ・ は○つあります
- ・ 一つ目は、
- ・ 二つ目は、

広告と説明書を読みくらべよう

課題 身の回りの文章を選び、表し方の工夫を読み取ろう。

表し方の工夫

- ① 書かれてあることから
- ② 言葉の使い方や説明の仕方
- ③ 写真や絵の使い方
- ④ 色の使い方
- ⑤ 書かれていることからの順序やレイアウト

※書く順序

- ① 選んだものの名前
- ② 相手
- ③ 表し方の工夫
- ④ 目的